

と違つて色々なものに交換しやすく簡単に	この様に、電気エネルギーは化石エネルギー	電気がなければただの箱になってしまふ。	だ。私が毎日使っているスマホやパソコンも	走る時代になり、発電もできるのだから驚き	ガソリンで走っていた自動車までもが電気で	気がないと使えないものばかりだ。今まで、	テレビに電子レンジなど、見渡せばどれも電	語れない。照明はもちろんの事、冷房や暖房、	考えてみれば、私達の生活は電気なくして	要もない。忘れっぽい私には大変な品だ。	ないので安全だ。つけっぱなしを気にする必	かい。繰り返し使えてエコな上に、火を使わ	もなく二十分充電するだけで八時間ずっと温	入して使ってみると、面倒なお湯の入れ替え	と、売場で母が感心した様に呟いた。早速購	んだねえ。	「へえ、湯たんぽも充電する時代になった	大阪市立蒲生中学校 二年 曾我 梨央	心をともす電気
---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------	---------------------	--------------------	---------

光や熱エネルギーに変わる。その為、照明だけでなく発熱や冷却、動力、通信など様々なものに姿を変えて私達の生活を支えている。先日、犬型ロボットの販売を新聞で知った。家事を分担させるものではなく、その挙動を楽しむために作られたものだ。人の心に寄り添うという。また、東京オリンピックでは、AIで同時通訳をし、言葉の壁をなくすという。この様な技術革新の裏には、電気の存在が必要不可欠だ。電気には、人の生活を豊かにする力と、人の心を豊かにする力がある。私は思う。私達にとって電気は、水や空気の様な存在だ。目に見えないものだからこそ、もっと意識して大切に使う必要があると思う。無線給電の技術を利用した光るつけまつげなど電気にはまだまだ無限の可能性がある。また宇宙環境下での電力発電などわくわくする夢も詰まっっている。私も、電気に携わる仕事ができる。電気の未来と無限の可能性を信じ人の心に幸せをともしてみたいと思う。